

富山大学次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING) 支援対象者募集要項

【早期予約採用】令和10年4月入学予定者対象

趣 旨

富山大学次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)(正式名称:「立山連峰学際研究プログラム～異分野融合グローバル・イノベーターの育成～」以下「本プログラム」という。)は、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の助成を受け、意欲ある優秀な学生が大学院博士後期課程において将来の高度人材として成長できるよう、博士後期課程学生に対して経済的な支援を行うとともに、多様なキャリアパスで活躍するための能力開発を行うプログラムです。本プログラムの『早期予約採用』による支援対象学生を以下のとおり募集します。

※本プログラムは国の助成を受けて実施していることから、政府の方針等により支援内容等、本募集要項記載の事項に変更が生じる場合があることを承知おきください。

『早期予約採用』の目的

博士号取得を当初から志望する優秀な日本人の博士前期課程・修士課程学生及び6年制課程の学部学生に対し、進学検討中に将来のSPRING(本プログラム)による支援を確約することで、経済的不安による博士後期課程進学への断念を防ぎ、優秀な学生の大学院博士後期課程への進学を一層促進することを目的に実施します。

1. 申請資格

今回の本プログラム『早期予約採用』に申請できる者は、次の(1)及び(2)に掲げる要件を満たす者としします。

- (1) 申請時点において、大学院博士前期課程・修士課程1年次又は6年制課程の学部5年次に在学する者で、令和10年4月に本学大学院博士(後期)課程へ入学する強い意志を持ち、優れた研究能力を有し、将来的に我が国における科学技術の発展やイノベーション創出へ資することが期待される者。
- (2) 次のいずれかに該当する者(提出書類の「申請区分チェックシート(別紙様式2-2)」により「区分1」に該当することを確認すること)。ただし、独立行政法人日本学術振興会の特別研究員等、国費による研究費支援を受ける者、及び生活費相当額として年額240万円以上の給与・役員報酬等の安定的・固定的な収入を得ていると認められる者を除く。
 - ① 日本国籍を有する者
 - ② 在留資格が「特別永住者」、「永住者」、「日本人の配偶者等」又は「永住者の配偶者等」である者
 - ③ 在留資格が「定住者」であり、将来永住する意思がある者
 - ④ 在留資格が「家族滞在」であり、次のすべての条件を満たす者又はこれに準ずる者として事業統括が認めた者
 - ア 国内で出生又は12歳に達した日の属する学年の末日までに初めて入国した者
 - イ 日本の小学校等から高等学校等までを卒業・修了した者
 - ウ 大学等の卒業・修了後も日本で就労して定着する意思がある者

なお、申請にあたり次の事項に留意してください。

- 本プログラムの支援学生に採択されるためには、別途、本学大学院博士後期課程の入学試験に出願の上、合格する必要があります。当該大学院入試に合格の上、入学していない場合は、本プログラムの採用決定を取消します。
 - 本プログラムの支援を受けていても日本学術振興会特別研究員への申請はできますが、本プログラムと特別研究員の併給はできませんので、特別研究員の採用が内定した場合、いずれかの受給の辞退が必要です。
 - 財団等による給付型奨学金により年間240万円以上(複数獲得している場合はその合計)の生活費支援を得る予定になっている者は、本プログラムへの申請資格を有しますが、研究奨励費の受給ができません。博士後期課程進学後に財団等の奨学金の受給が決定しているか、又は申請中・申請検討中の場合は、必ず本プログラムへの申請前に「11. 問合せ先」へご連絡ください。(奨学金と本プログラムの併給が認められないケースがあるため、事前に確認を行います。)
 - 日本学生支援機構による奨学金を受ける予定の者は、本プログラムへの申請資格を有しますが、本プログラムに採用となった場合、日本学生支援機構による奨学金返還免除申請はできなくなるので留意願います。
- 申請資格で不明点がある場合は、「11. 問合せ先」に照会してください。

2. 募集人数

3名程度

3. 支援内容

(1) 研究奨励費

- ①当該学生が研究に専念できるよう、生活費相当額として支給します。
- ②研究奨励費は、2か月毎に支援対象学生からの請求書の提出を受けて支給予定です。
- ③研究奨励費は返済の必要はありません。(申請書類に不正があった場合等を除く。)

(2) 研究費

年額50万円を配分します。この他に優れた成果を挙げた学生に対してのインセンティブとして追加の研究費(裁量研究費)を配分します。

(3) キャリア開発・育成コンテンツ

本プログラムは、支援対象者が将来、多様なキャリアパスで活躍するために、次の①から④の能力育成を目指し、各種キャリア教育プログラムを提供します。

①キャリア開発

地域の産業界とも連携した長期インターンシップ、合同企業説明会の機会の提供

②国際性の涵養

協定校や海外共同研究先への海外派遣

③学際性の涵養

異分野・副指導教員体制を積極的に活用した分野融合研究

④トランスファラブルスキル習得

分野を越えた全学生の研究発表と企業人とのディスカッションする場の提供及びプレゼン資料のスキルアップ講座の提供

- 本プログラムでは、入学料及び授業料の支援はありません。別途本学が定める入学料及び授業料が必要です。入学料及び授業料免除を希望する場合は、別途、各自で申請してください。

4. 支援予定期間

令和10年4月から支援を開始します。(原則、各人の標準修業年限以内)

標準修業年限が3年の博士(後期)課程の学生に対しては、3年次まで、標準修業年限が4年となる博士課程の学生に対しては、4年次までの間それぞれ支援します。

なお、上記期間内であっても、別に定めるとおり、休学した場合や退学した場合、義務の履行状況が不十分と判断された場合等により、支援の取消しとなる場合がありますのでご注意ください。

5. 申請手続

本プログラムによる支援を希望する者は、申請書(別紙様式1-2)及び申請区分チェックシート(別紙様式2-2)を作成し、指導(予定)教員からの推薦書(別紙様式3-2)を添え、下記の提出先へ申請してください。

申請書受理後、1月6日(水)までに申請書記載のE-mailアドレス宛に受理の案内を送付しますので、届かない場合は、「11. 問合せ先」までご連絡願います。

- 申請書は日本語で作成してください。申請者本人以外の者が代筆した申請書や自動翻訳ソフト・生成AIによる文章をそのまま用いたと思われる申請書は受け付けません。

(1) 申請書提出期間 令和8(2026)年12月15日(火)～12月22日(火) 12時(正午)

(2) 提出書類

①申請書(別紙様式1-2):

②申請区分チェックシート(別紙様式2-2):

- ・「①申請書」及び「②申請区分チェックシート」は、それぞれPDF化の上、メール添付にて提出すること。
- ・PDF化した際に、様式の改変がされていないか、十分確認すること。
- ・メールの件名は、「【SPRING 予約採用】R10申請(・・氏名・・)」とすること。
- ・提出先: 富山大学 SPRING 事務局:

jisedaipro"@adm.u-toyama.ac.jp (送信時は"@を@に変更。)

③推薦書(別紙様式3-2):

- ・申請者及び推薦者の氏名を自署し、原本を提出すること。
- ・提出先: 五福キャンパス: 理工系学務課(大学院担当)
杉谷キャンパス: 杉谷地区学務課学生支援チーム

6. 選考及び結果通知

支援対象学生の選考は、選抜実施委員会・運営会議において書面及び面接による審査を行い、事業統括が最終決定を行います。

なお、面接は、2月上旬に五福キャンパスにおいて実施予定です。詳細は、申請書に記載のE-mailアドレス宛に、申請書受理の案内とともにお知らせします。日本人学生には、自己紹介、研究の概要の説明をすべて英語で行ってもらいます(英語で対応できなかった場合、大きく減点されます)。

また、最終決定の結果は、3月上旬を目途にメールにてお知らせします。

※支援対象学生としての確定は、令和10年4月1日時点において、当該研究科(学環)博士後期課程の専攻・プログラムの定められた学年に在籍していることをもって確定とします。

※今回の本プログラム『早期予約採用』に不採択となった場合であっても、来年度募集する令和10年4月支援開始者募集（対象：大学院博士前期課程・修士課程2年次、6年制課程の学部6年次等）に申請することが可能です。

7. 選考の観点

本プログラム早期予約採用制度による支援対象学生の選考に際し、次に掲げる各項目を点数化した成績を採否判定の参考とします。

（1）書類審査

- ① 将来の発展性等を含む研究計画の新規性、重要性、妥当性
- ② 将来の我が国の科学技術・イノベーション創出を担う研究開発者となる意気込み
（本プログラムは、支援学生がプログラム修了後に日本の民間企業、公的研究機関及びそれらの海外支所に就職することを前提としています。）
- ③ インターンシップ又は海外留学の抱負
- ④ これまでの研究活動実績及び学内・外での研究発表・学術交流会等のイベント参加、ティーチングアシスタント(TA)等の研究補助活動など、アピールできる実績

（2）面接審査

新規分野の開拓や社会問題解決への貢献等、主体的に挑戦的・融合的な研究を行う意欲があるかを、面接において審査します。面接の冒頭5分間で、自己紹介と申請者の研究計画の概要を説明してもらい、その後、面接官の質問に答えてもらいます。

また、グローバルな視点を持ち、将来の我が国の科学技術・イノベーション創出を担う研究開発者であることを確認するため、日本語を母語とする申請者については、自己紹介と研究計画の概要説明を英語で行ってください。質疑応答については可能であれば英語で、困難であれば日本語で行います。日本語を母語としない申請者については、自己紹介と申請者の研究計画の概要説明を日本語で行ってもらい、質疑応答については日本語又は英語で行ってもらいます。

8. 支援対象学生の義務

本プログラムの目的達成のため、早期予約採用による支援対象学生（区分1）は、次に掲げる各号の義務を負うものとします。

なお、これらの義務事項への取組状況・履行状況が不十分と判断される場合は、支援期間中であっても支援を取消すことがありますので、ご注意ください。

- （1）申請時の研究計画を踏まえた研究に専念すること。
- （2）申請時のインターンシップ又は海外留学計画を着実に実施すること。
- （3）年間1報の論文投稿、もしくは国際学会での発表を実施すること。
- （4）キャリア開発・育成コンテンツ等の各種プログラムに参加すること。
- （5）研究等の進捗状況を定期的に事業統括が求めるレポートにより報告すること。
- （6）指導教員、副指導教員による面談を定期的に受けること。
- （7）研究倫理教育に関するプログラム（eAPRIN）を受講・修了すること。
- （8）国のジョブ型研究インターンシップ推進協議会が運営するシステムへの登録を行うこと。
- （9）修了後の進路について、大学が指定する卒業（修了）者就業状況追跡システムへの登録により報告すること。
- （10）本プログラムに関する各種調査に回答すること。
- （11）研究奨励費に関する確定申告等の税法上の手続きについて実施すること。

9. 税法上の手続等

支援対象学生と本学の間に雇用関係はありませんが、研究奨励費は、税法上雑所得と扱われるので、所得税、住民税の課税の対象となります。そのため、確定申告が必要となりますので適切な対応が必要です。また、このことを特に扶養義務者（親等）の方にお伝えいただき、健康保険や扶養手当等における扶養の扱いについても、扶養義務者の職場等の担当者にお問合せください。

10. 個人情報の取扱

- (1) 申請書に記載の氏名等の個人情報は、書類審査、面接審査等の選考及び本プログラムに関する業務を遂行するために利用させていただきます。
- (2) 支援対象者の氏名・所属・顔写真等をウェブサイトで公表する際、各種報告書等の印刷物で公表する際に利用させていただきます。
- (3) 支援対象者の氏名・所属等を事業活動の記録として授業、イベント等の写真を報告書等の印刷物やウェブサイトで公表する際に利用させていただきます。
- (4) 本プログラムは、国立研究開発法人科学技術振興機構（J S T）の助成により行われるものですが、本プログラムの実施状況等に関し、J S Tは支援学生に対して直接フォローアップを行うとともに、J S Tの担当部署への支援学生へのアクセスを担保し、直接意見等を受け付け、それらの結果を本プログラムの評価に直接活用することとしています。申請書に記載の氏名等の個人情報のほか、連絡を取ることができるメールアドレス等をJ S Tに提供させていただきますので、評価をはじめとする調査等の依頼があった場合は協力願います。

11. 問合せ先

富山大学 SPRING 事務局 担当：落合、佐藤（学務部学生支援課就職・キャリア支援室 内）
(Email) jisedaipro“@”adm.u-toyama.ac.jp （“@”を@に変更してください）
(Tel) 076-411-4810、076-445-6391